

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#18

空き缶で葺いた屋根はパッチワーク柄のようにカラフル。ポイントとなる部分にはお気に入りのビールの缶を配置。



木材や布地を再利用しながら自宅をリフォーム。素敵なテーブルセットも松田さんの作品です。



松田さんが自宅の入り口に建てた新しいあずまや。そのカラフルな屋根をよく見ると、見慣れたロゴやおいしそうな絵柄が。そう、なんとこの屋根、アルミ製の空き缶で、きれいに葺いてあるのです。「時間があるからね、ちよこちよこやっているの」と笑う松田さん。このあずまやで、お茶を飲んだりバーベキューをしたりできるよう、テーブルや椅子も製作中です。自宅裏の井戸にかけた屋根も、アルミ缶で葺いているところです。

もともと大工業をしていた松田さんは、建て替えず残した母屋のリフォームも、自分の手で続けています。通院の都合などで避難先に留まる家族と離れ、現在は村で一人暮らし。「広い家に一人はさびしいが」と感じながらも、自宅や農地に手をかけ、こんなに楽しいあずまやまで建ててしまいました。道の駅からもアルミ缶を引き取り、二つの屋根に約2400缶を使用したそうで、その根気とていねいな仕事ぶりに、感動してしまいます。

松田 直藏 さん
深 谷

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613

DIY イベントでイスを製作



木材部分の表面をバーナーで焼いて磨くとぐっとおしゃれな風合いに

村にクリエイターやアーティストの活動拠点をつくろうと活動している地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)。活動拠点で使う家具作りを楽しむ、2回目のDIYイベントを、10月31日に開催。集まった村内外の参加者と交流しながら、古くなった学校のイスをリメイクしました。

カラフルな布を張ってこんな素敵なイスに生まれ変わったよ



第2回「山の向こうから」を開催

一人ひとりの作り手さんを訪ね、自分でそのよさを確かめながら出店を願いしました。村内のよいモノもさらに紹介していきたいです



二瓶さん

11月1日、地域おこし協力隊の二瓶麻美さん(草野)主催のイベント「山の向こうから」が、やすらぎ工房前庭で開かれました。二瓶さん製作のテントがぐるっと会場を囲み、花、雑貨、刃物、食器、おいしいモノなどを盛りだくさんに。来場した皆さんは、作り手と対話をしながら、よいモノとの出会いを楽しんでいました。



寄贈の祝い着を貸し出します



坂本弘さん(草野)から、「白寿(99歳)」と「百寿(100歳)」のお祝いに着用した「祝い着」を、村に寄贈していただきました。「これから長寿のお祝いを迎える方に使っていただければ」とのことです。

縁起のよい祝い着を、ありがたく大切に貸し出しさせていただきます。

貸し出しを希望される方は健康福祉課福祉係までご連絡ください。

☎ 健康福祉課福祉係
0244-42-1633

「サバイバル」とは生き残るための作戦のこと。オールカラー漫画「サバイバルシリーズ」は、次々と襲いかかってくるピンチに、子ども達が勇気と科学の知識で立ち向かっていく冒険物語です。生き物、自然、人体、災害、環境問題、AI、宇宙…と科学に関するあらゆるテーマがそろっているのもシリーズの特長です。

さて、交流センターには、シリーズのどの本が置いてあるでしょうか？親子で探してみませんか？冬休みの勉強と読書に、交流センターの本を、ぜひご活用ください。

☎ 交流センター「ふれ愛館」
0244-42-0072

ドキドキハラハラ！ 楽しく読んで知識も身につく



科学漫画サバイバルシリーズ
「水族館のサバイバル 1」
ゴムドリco.文／韓賢東 絵
朝日新聞出版

交流センター「ふれ愛館」だより
冬休みおすすめ図書